

# 西小倉地域小中一貫校整備検討委員会

## 第7回 学校部会会議録

日 時 令和4年6月28日（火） 19時00分 開議

場 所 宇治市立西小倉中学校 視聴覚室

### 会 議 日 程

#### 1. 学校部会協議

- ①開会
- ②今後のスケジュールについて
- ③意見交換会について
- ④西小倉地域小中一貫校計画素案について
- ⑤グループワーク
- ⑥その他
- ⑦閉会

会議に付した事項 会議日程に同じ

出席者

(委員長)

山 花 啓 伸

(副委員長)

岩 井 浩

(部会長)

渡 邊 和 孝

(委員)

井戸本道衛 門 脇 洋 子 伊 藤 敏 雄 栗下加代子

渡 邊 和 孝 中 野 正 彦 手塚ゆかり 上 田 智 子

米 村 洋 行 中 西 夏 子 中 尾 和 之 白 藤 友 子

馬 淵 伸 一 黒 田 忠 雄

(事務局 教育委員会)

学校改革推進課長 吉 川 貴 之 学校改革推進課副課長 山 口 立 彦

学校改革推進課総括指導主事 坂 上 敬 宣 学校改革推進課 半 田 悠 祐

学校改革推進課 瀬 野 克 幸

(事務局 建設部)

施設建築課長 塩谷 知子  
施設建築課 青木 郁弥

施設建築課 西尾 信吾

## 開 会 (19時00分)

### 1. 学校部会協議

#### ① 開会

部会長が「西小倉地域小中一貫校整備検討委員会第7回学校部会」の開会を宣言する。

#### ② 今後のスケジュールについて

それでは、今後のスケジュールについてご説明いたします。第7回 西小倉地域小中一貫校整備検討委員会【学校部会】資料④ をご覧ください。

これまで、学校部会においては、西小倉地域小中一貫校の整備について、段階を追って計6回にわたりご意見をいただいていたところです。資料の下段にあります、開校に至るまでの「今後のスケジュール」については、第1回学校部会で説明させていただきました通り、本年度令和4年度中は基本計画、基本設計、実施設計と進むなかで、学校部会において適宜ご意見をいただくこととなり、これまで委員の皆様にはおおむね月1回の学校部会へのご参加をお願いしております。

令和5年度以降は、資料にあります通り、学校の名称、校歌、校章、制服をはじめ、通学路に関する事を協議してまいります。現在は月1回ほどの頻度での開催となっておりますが、設計期間終了後は、こうした小中一貫校に関する幅広いことについて意見をいただいている予定ですが、必要に応じての開催となりますため、あくまで想定範囲ではありますが、学校部会の開催の頻度はぐっと下がってくると考えております。

次に、「学校部会の当面のスケジュール」についてご説明いたします。

現在、基本計画素案の検討段階でございますが、今後、A B案いずれかの1案に絞り込み、基本計画は8月末までに策定し、レイアウト、機能の配置を決定することといたします。今回を含めて、基本計画については2回の協議を予定しております。基本計画策定後には、基本計画をもとに、より詳細な諸室の間取り、広さなどを決定し、基本設計を策定していく流れとなります。

直近の市教委の動きとしては、7月末までに、このあとご説明いたします、配置イメージ(案)の資料をもって、市教委主催による保護者等説明会を開催する予定としております。その後、基本計画策定までには、第8回学校部会や、全体会となる第3回整備検討委員会を開催予定です。第8回学校部会では7月の保護者等説明会で出たご意見の内容を踏まえ、配置イメージ(案)に対する意見をまとめ、整備検討委員会では学校

部会における協議を踏まえたこれまでの検討状況についての報告等を行なってまいりたいと考えております。

先ほども申し上げましたが、今後、市教委といたしましては、説明会や学校部会で幅広いご意見をいただきながら、8月には基本計画を策定したいと考えております。なお、スケジュールについては現在の想定ですので、変更となる場合がございます。

市教委といたしましては、今後様々な方法で、西小倉地域小中一貫校の整備について周知を行っていきたいと考えており、意見交換会や、今後予定している保護者説明会とは別に、今回の整備により直接の影響を受ける、西小倉中学校敷地に隣接する住民の皆様に対しては、より詳細な説明を行っていく必要があると考えているところです。

こちらにつきましては、さる6月6日と20日に、西小倉中学校の北側の遊田南町内会の皆様に対して説明会を行ったところです。説明会においては、「建物をもう少し南側に移動してほしい」や「近隣のプライバシーに配慮してほしい」、「現校舎側への建設を希望する」等のご意見をいただいたところです。また、6月23日には、遊田南町内会様より、市長及び教育長あてに、南側に校舎を建設することを求める要望書が提出されたところです。

市としては、西小倉地域小中一貫校の整備にあたり、基本的な考え方として、教育環境をより良いものとする、かつ、学校統合に伴う子どもたちの負担を可能な限り軽減することを基本的な考え方としているところであり、工事期間の児童生徒への影響、学校統合に伴う児童生徒の負担を軽減する観点から、現グラウンド側に建設することが望ましいと考えているところがございます。現段階で考えうる2つの案を、基本計画素案としてお示ししているものでございます。

つきましては、引き続き、児童生徒への負担軽減の観点から、地域住民の皆様には、現行案へのご理解を求めていきたいと考えております。いずれにいたしましても学校の整備に関しては工事期間中等、多大なご負担をおかけすることになりますが、児童生徒の教育環境をより良いものとしていくため、避難所機能や地域のシンボルになる学校として、地域住民の皆様方に喜んでもらえる学校となるよう、誠心誠意保護者や地域の皆様方へ丁寧な説明を行っていきたいと考えております。

なお、この間、ご意見をいただいております給食の件につきましては、報道されております通り、有識者による検討委員会を立ち上げ、7月末をめどに本市の給食のあり方について検討されている段階でございますので、西小倉地域小中一貫校の給食については検討委員会における議論の結果を待つこととなりますので、現在明確な回答が難しい部分があることについても、ご容赦いただきたいと思います。

説明は以上となります。何卒よろしくお願い致します。

### ③ 西小倉地域小中一貫校整備に関する意見交換会について

資料②「意見交換会の概要①」をご覧ください。こちらの資料は、前回の学校部会で意見交換会のまとめを行いました。資料の添付ができておりませんでしたので、今回あらためてご提示させていただくものです。こちらは3回にわたる意見交換会におい

て出た意見でございますが、加えまして、後日、西小倉コミュニティセンターや学校に提出していただいた意見用紙がございます。この間、こちらも学校部会から市教委へご報告いただいているところでございまして、ご意見をまとめたものが資料③「意見交換会の概要②」です。

資料とは別に、西小倉地域小中一貫校整備検討委員会だより第3号を作成し、意見交換会での意見に対する市教委の回答を掲載したものを保護者や地域の方々に配付し周知してまいりたいと考えております。また、整備検討委員会だよりに掲載しきれなかったご意見や回答につきましては、別に資料を作成し、宇治市ホームページに掲載してまいりたいと考えております。

#### ④ 西小倉地域小中一貫校計画素案について

事務局より説明する。

〔説明〕

それでは、「西小倉地域小中一貫校基本計画素案 配置イメージ（案）について」をご説明いたします。

資料は、11ページまでとなっております。別冊資料の1ページをご覧ください。1ページは、現西小倉中学校の敷地条件および、令和8年開校予定時点での児童生徒数等を記載しております。なお、下段の※にありますように、「この配置イメージ案における図面がそのまま基本計画となるものではありません。また、建物レイアウトのイメージは設計前のものであり、敷地や建物の縮尺は精緻なものではないということを前提にご覧いただけましたら幸いです。

それでは、2ページから6ページの「異学年の一体感を育む回廊型案」をご覧ください。資料の「管理」と記載している箇所は、職員室や保健室や更衣室等であり、「特別教室」と記載している箇所は、音楽室や理科室・美術室などです。3ページをご覧ください。1階の特徴としましては、下段に記載のとおり、「中庭と交流エリアが異学年交流の場になるほか、イベントや屋外学習等、創造的な学びに対応した活動が可能と考えております。また異学年の活動の様子が校舎全体から見渡せる構造であることが、子どもたちの関係世界を広げ、新たな探究心を育むと考えております。4ページをご覧ください。2階につきましては、校舎配置内には記載はございませんが、右下写真にありますイメージのように、「メディアセンター」の配置を考えております。メディアセンターでは、タブレット端末を利用した学習に対応するため、図書室機能のほか、多様な調べもの学習を可能とします。また、児童生徒の動線の重なるポイントに配置することで、一体感を高める空間構成となります。5ページをご覧ください。3階も含めまして、右下写真にありますイメージのように、各フロアには児童生徒同士が交流できる「交流スペース」や教師と相談等できる「教師ステーション」の配置により、児童生徒が気軽に教師と相談できる場となります。6ページの4階部分も同様です。

次に、7ページから11ページの「校舎棟を南側に配置した従来型案」をご覧ください。1階の特徴としましては、下段に

記載のとおり、「交流エリア」の活用や中庭の活用により、異学年交流の場になるほか、普通教室を南側へ配置できることから、視認性の高い構造となり、児童生徒の指導等の点で分かりやすい空間構成となります。9ページをご覧ください。2階につきましては、校舎配置内には記載はございませんが、先ほど同様、「メディアセンター」の配置を考えております。また、児童生徒の動線の重なるポイントに配置することで、一体感を高める空間構成となります。10ページをご覧ください。こちらも3階も含めまして、右下写真にありますイメージのように、各フロアには児童生徒同士が交流できる「交流スペース」や教師と相談等できる「教師ステーション」の配置を考えております。また、特別教室関係を北側へまとめて配置することで、エリア区分として分かりやすい空間構成となります。11ページの4階部分も同様です。

市教委としては、A、B案いずれの案においても、これからの時代にふさわしい小中一貫校とするため、これまで宇治市で行ってきた小中一貫教育の取り組みを基本としつつ、子どもたちの発達段階に応じた学習環境や、ウィズコロナ・ポストコロナの状況も踏まえた新しい学びに対応する教室環境などを基本的な考え方として、充実した機能を持たせたいと考えております。

以上が配置イメージ案の説明でございます。

今後、市教委といたしましては、A、B案いずれが宇治市が目指す西小倉地域小中一貫校整備の基本コンセプトをより実現できるものとなるのか、という視点に立って、今後案を絞り込んでいきたいと考えております。

イメージ(案)に関する説明は以上でございますが、この間、5月26日の教育委員会会議において、教育委員より、採光等の課題はあるものの、工夫を行うことで、交流スペースと一体利用可能な中庭でいろいろな交流ができる回廊型のA案を、との複数の意見をいただいてまいったところですが、その後、学校部会により開催されました意見交換会において、回廊型に対する様々な懸念点、採光、通風、安全性に関するご意見も併せていただいたところでございます。

市教委といたしましては、こうした意見交換会で出た懸念点についても広報紙のほか、保護者説明会等において回答していきたいと考えております。

学校部会におきましても、同様のご意見が出ていたことから、今回、市教委として様々な先進事例、宇治黄檗学園や、他市の事例の調査を行い、A、B案双方の案のメリットデメリットについて整理しましたので、この後、坂上総括から、補足として、ご説明させていただきたいと思っております。

〔補足説明〕

意見交換会や先生方に実施したアンケートを通して、これまでいただいていたご意見をもとにA案・B案の課題点等を整理し、ご説明させていただきます。

まず、A案の「異学年の一体感を育む回廊型案」についてです。意見交換会で頂いた意見の中に「曲がり角が多いけどぶつからないの?」「光が入らず暗いのでは?」「周りが壁に覆われていて風が通らないんじゃないの?」といった意見がありました。

B案の「校舎等を南側に配置した従来型案」では、教員アンケートの中から「効率の

良い動線にしてほしい」「直線部分が多いと子どもが走る」といった意見がありあました。

回廊型の校舎であったり115mの校舎であったりこれまでの宇治市にはなかったものなのでなかなかイメージしづらく不安になることもあると思います。

そこで、意見交換会において「たくさんの校舎を見て参考にすればいいのでは」という意見をいただいておりますので、今回、実際に視察を行いました。

回廊型の校舎は宇治市にはありませんので、京都市立東山開晴館小学校・中学校、彩都の丘学園（箕面市立彩都の丘小学校・彩都の丘中学校）、京都府立井手やまぶき支援学校の3校を視察してきました。

従来型は宇治市でも多い形になりますが、その中でも直線部分が長い宇治市立槇島小学校を見てきました。

視察行った結果、回廊型での明るさについては中庭から光を取り入れてられており明るかったです。

実際に自分たちの目で見てきた実感だけでなく、視察に対応していただいた先生への質問でも、「中庭があることでとても明るいです。」「他の教員にも聞いてみましたが明るいと言っています。」と答えられていました。

特に普通教室の配置を検討している南側・東側については問題ない明るさでした。「でも、校舎の形によって明るさは変わってくるのではないか」といった疑問も出てくるとは思いますが、井手やまぶき支援学校は、西小倉地域小中一貫校で予定しているよりも小さめの中庭でしたが普通教室の配置を予定している南側と東側は十分明るかったです。

特別教室が配置してあった北側については場所によっては暗く感じる所もありましたが、人感センサーによる電灯等で対応されておりました。でもそれは従来型でも同じ課題になってくるのではないかと考えられます。

A案、B案のどちらの案になったとしてもそれぞれの状況に応じた対応が必要になってくるのではないかと思います。

こちらは、西小倉中、西小倉小、南小倉小、北小倉小の写真です。宇治市の学校では2つの校舎が並んでいる形やコの字型が多いですが、今回の西小倉地域小中一貫校の中庭は、これらの学校の中庭等よりも広くなる予定です。

回廊型での風通しについてですが、視察した学校につきましては風通しは良かったです。校舎を案内していただいている最中にも心地よい風を感じることができましたし、校長先生への質問でも「風の通りはとてもいいですね」といった回答をいただいております。

西小倉地域小中一貫校につきましても今後、風の通り抜けが良くなるよう設計を工夫していけるよう検討していきます。

従来型での教室移動についてですが、従来型は宇治市の中でも多い形になりますが、その中でも直線部分が長い槇島小学校に行ってみると実際に特別教室までの移動時間をはかってみました。その結果、けっこう時間がかかりました。実際には校舎の一番端の6年

1組から家庭科室までの移動時間ですが、1分50秒ほどかかりました。

小学校の授業と授業の間の時間は基本的に5分です。トイレに行ったり持ち物を準備したりしていると教室移動にかなりあわただしくなり、移動距離が長いと授業の開始に間に合わなくなることもあるかもしれません。

そこで、B案では、なるべく特別教室をどの普通教室からも移動しやすい位置に配置し、少しでも教室移動の時間を短くできるようにしていきたいと考えます。

また、回廊型案では、「曲がり角が多いけどぶつからないの？」という意見をいただきました。視察での校長先生への質問では、「回廊型だからと言ってぶつかるといったトラブルはないです」という回答をいただいております。

ただその一方で、別の回廊型の学校の校長先生からは「曲がり角が多いことによる出会い頭のぶつかりには注意喚起が必要ですね」といった回答もいただいております。

そこで、この写真は、井手やまぶき支援学校の廊下の写真ですが、廊下を広くしたり、曲がり角には丸みをもたせたりガラスにしたりと設計上の工夫も考えていく必要があるのかもしれません。

回廊型案では曲がり角が多いけれどぶつからないの？という意見があり従来型案では、「直線部分が多いと子どもは走りたがる」といった意見があることからA案、B案のどちらでも同様の心配が考えられます。

でも、そもそも大前提は廊下は走らないということが大切なのではないのでしょうか。

視察に対応していただいた校長先生の話の中で「人通りの多い河原町で歩く人がぶつかっていますか？」大切なのは社会の中で自分はどうのように行動すべきかなどの社会性を学校生活を通して身につけさせることではないのでしょうか。「小中一貫校で小学生の作品を展示したら中学生が悪さをするから作品は展示しないほうがいいんじゃないですか」ということも議論になりましたが、だから作品を展示しないんですか？そもそもそういった社会性を教えるのが学校の役割ではありませんか？と答えたことがあるとおっしゃっておられました。

同じ施設で体の大きな中学生が体の小さな小学生のことを思いやる、また、テスト期間中だから静かに行動しようなど小学生が中学生を気づかうことができる心を育むなど施設一体型小中一貫校ならではの教育につながっていくと感じました。

話は少し変わりますが、前回の学校部会の中で、「昇降口が1か所のように見えるけど全児童生徒が1か所に集中して大丈夫？」といった意見がありました。

仮にA案、B案ともに2か所目の昇降口を設置し、児童の動線を考えてみました。すると児童生徒の動線で、逆方向の動線の重なりができるところがあり登校時の児童生徒が集中する時間帯によっては危険な場合もあるかもしれません。

今回視察いたしました東山開晴館や昨年度学校部会で視察いたしました向島秀蓮小中学校は1か所の昇降口を9学年が使用しておりました。また、東山開晴館や彩都の丘学園では低めの靴箱を使用されるなど見通せる工夫がなされておりました。

昇降口を複数設けるのか。仮に1か所の昇降口の場合でも十分な広さを確保する、校

舎に入ってからの動線を明確に分けるなど工夫する、必要に応じて発達段階に応じたゾーニングを行う等、児童生徒が安全に生活できるよう今後の基本計画の中で十分に検討していきたいと考えております。

最後に西小倉地域小中一貫校でも宇治黄檗学園の先生方からも好評でありました交流ホールや教師ステーション、ピロティやスポーツストリートのような雨天時も活用できるスペース等を設置していきたいと考えております。

特に交流エリアや交流スペースを充実させ、基本コンセプトにもあります『多様な異学年交流ができ、9学年のつながりとふれあいで、互いに成長できる施設』にしていきたいと考えております。

井手やまぶき支援学校では、こまちサロンという昇降口入ってすぐの校舎中心の交流スペースで、ボランティアによる読み聞かせ、楽器演奏、地域の文化教室の催し等・中・高との交流等のイベントが行われているそうです。

こまちサロンは、校舎の中心に配置されているので、階段や2階から様子が垣間見れるとのことでした。

西小倉地域小中一貫校でもこういった交流エリア・交流スペースになるよう考えていきたいと思っております。

今回、視察させていただいた学校では校長先生が口々に「小中一貫校になって子どもたちが優くなりました」とおっしゃっておられました。西小倉地域小中一貫校をより良い学校にしていくために議論をお願いします。

## ⑤ グループワーク

事務局からグループワークの説明をする。

〔説明〕

今日のグループワークの目的は、基本計画素案配置イメージ(案)やこれまでにいただいた配置イメージ(案)への意見・質問に対する事務局からの説明をもとに、基本計画素案に対する意見交換を行い、現在進行中の設計作業の参考材料としてまとめることです。テーマは、「基本計画素案 配置イメージ(案)を深堀する」です。配置イメージ(案)の説明、補足説明などを踏まえ、A案・B案で「まだ、こんな心配点はあるのでは?」「でも、この部分は期待できるのでは?」そして「このような施設ならこんなことも出来る学校になるのでは?」といった視点で、自由に意見を出し合い、グループごとに取りまとめてください。

グループワークで出た意見

### 【Aグループ】

(A案)

- ・曲がり角は写真(ガラス張り・丸みを持たせる)のように工夫してあれば安全である。
- ・(ガラス張りにすると)明るくなるかもしれないがガラスになると掃除はどうする。
- ・他学年の様子がわかりそう。



- ・内側、外側に階段を多くしてほしい。
- ・明るいスペースが増えそう。
- ・校舎と体育館の間に渡り廊下はあるのか。
- ・風通しが良いことがわかった。

(B案)

- ・特別教室の位置が工夫されていれば時間（移動）が気にならない。
- ・(長い校舎だと) 1・2年生の移動が大変なのでは？

(共通)

- ・中庭は、人工芝だと使いやすいのではないか。
- ・交流スペースが魅力的。
- ・北側住民への配慮が必要。
- ・コスト面でも考えていく必要がある。
- ・余裕のある収納スペースを確保してほしい。
- ・避難経路は大丈夫か？昇降口が1か所では集中するのでは？
- ・昇降口が1か所だと子どもが混雑するのではないかと不安。

### 【Bグループ】

(A案)

- ・動線が短い。
- ・自然な交流が生まれやすい。
- ・ゾーニングしやすい。

(B案)

- ・南向き、従来型なので安心。
- ・動線が長い。
- ・教室移動の時間がかかる。
- ・中庭が昇降口の移動通路になることが心配。

(共通)

- ・雨の日に過ごしやすい場所を確保してほしい。
- ・(費用面での心配はあるが) 中庭を開閉式の天井にしてはどうか。
- ・(紫外線対策のため) プールの屋根をつける、屋内プールにする等検討してはどうか。
- ・登校しぶりの子の居場所を確保してほしい。

### 【Cグループ】

(A案)

- ・全体的にまとまっているように感じる。
- ・今までにない学校にしたい。
- ・曲がり角をガラスにすることで見通しが良くなることがわかった。
- ・曲がり角のガラスは強化ガラスにする必要があるのではないか。

- ・特別教室に光が入らないのではないかな。
- ・昇降口は2か所にしても一方通行にすることで動線の重なりは解消するのでは。

(B案)

- ・(特別教室の配置を工夫することで) 特別教室への児童がかからずによい。
- ・全体的にまとまっていないように感じる。
- ・廊下が長いので移動が大変。
- ・昇降口は2か所にすべき。

(共通)

- ・誰にでも安全・安心な昇降口にしてほしい。
- ・昇降口が1か所なら横幅だけでなく奥行きも必要(傘立てを置くため)
- ・昇降口が1か所でも靴箱を低くして見通しを良くすれば安全なことが分かった。
- ・避難時のルートは? 昇降口以外の出入り口はあるのか?
- ・メディアセンターは小学校と中学校で別々の方が良い。
- ・メディアセンターは本箱を低くして見通しを良くしてほしい。
- ・メディアセンターに畳スペースを設置してくつろげるようにしてほしい。
- ・雨天時に活動できるスペース(ピロティ)を確保してほしい。
- ・トイレを多く設置してほしい。
- ・教師ステーションをどこに配置すれば効果的か?
- ・防災の観点から職員室や体育館にカメラを設置してほしい。
- ・児童生徒の更衣室は確保されているのか。
- ・廊下は広くしてほしい。
- ・曲がり角の曲線的なものはどの程度取り入れるのか。  
→ガラス面が大きいとメンテナンスが大変ではないか。
- ・登下校が職員室から見えるように配置してほしい。
- ・エレベーターを設置してほしい。
- ・特別教室をどのように配置すれば効果的か?
- ・メイングラウンドとサブグラウンドだけでは狭いのではないかな?
- ・中庭やサブグラウンドを芝にしてほしい。
- ・手洗い場を多く確保してほしい。
- ・保健室は小学校と中学校(もしくは1~4年、5~9年)で分けてほしい。
- ・靴は3足制にする、体育館への動線を上靴で行けるようにする等体育館に砂が入らない工夫が必要。

⑥ その他

事務局より説明する。

いつもであればこの場で次回の日程調整を行っているところではありますが、現在

の段階では、開催時期がいつになるか決定しておりません。今後、電話やメール等で日程調整を行い、案内文書を送付いたします。

⑦ 閉会

部会長が閉会を宣言する。

**閉**                      **会**      (20時30分)